

## ISO ILL プロトコル対応 ILL システム解説

### 1. ISO ILL プロトコルとは

ILL 業務における国際標準プロトコルとして、ISO ( International Standards Organization : 国際標準化機構 ) が定めた 2 つの規格 ISO10160 と ISO10161 の総称です。

- ISO 10160 ( Information and documentation - Open Systems Interconnection - Interlibrary Loan Application Service Definition )
- ISO 10161 ( 同 - Interlibrary Loan Application Protocol Specification )

これによって、互いに異なる ILL システム同士を相互接続し、相互貸借・文献複写業務を行うことができます。各国の情報提供機関は、このプロトコルへの対応を進めつつあり、このプロトコルを用いて ILL 業務を行うことが、これからの国際標準となります。

### 2. ISO ILL プロトコルに対応すると

- BL ( 英国 ) との ILL 業務 ( 依頼 ) が対話的に処理できます
- 外部機関との処理でも状態の確認ができます。
- OCLC , RLG ( 以上米国 ) , KERIS ( 韓国 ) , CALIS ( 中国 ) 等 , 海外の情報提供機関との ILL 業務 ( 依頼・受付 ) が順次 , NACSIS-ILL から実行できるようになります。
- 各機関の研究者の情報ニーズを、世界的な規模でサポートすることができます

### 3. ISO ILL プロトコル対応に伴うシステムの変更点

#### 3.1 国立情報学研究所 (NACSIS-ILL サーバ) 側:

- ILL レコードおよび参加組織レコードに、フィールドを新設します。
- 新設フィールドのスキーマバージョンは、「3」を予定。
- 依頼先に新たに「BL」「OCLC」「RLG」等を加えてゆきます。

\* 状態または状態遷移の新設は行いません。

#### 3.2 図書館側:

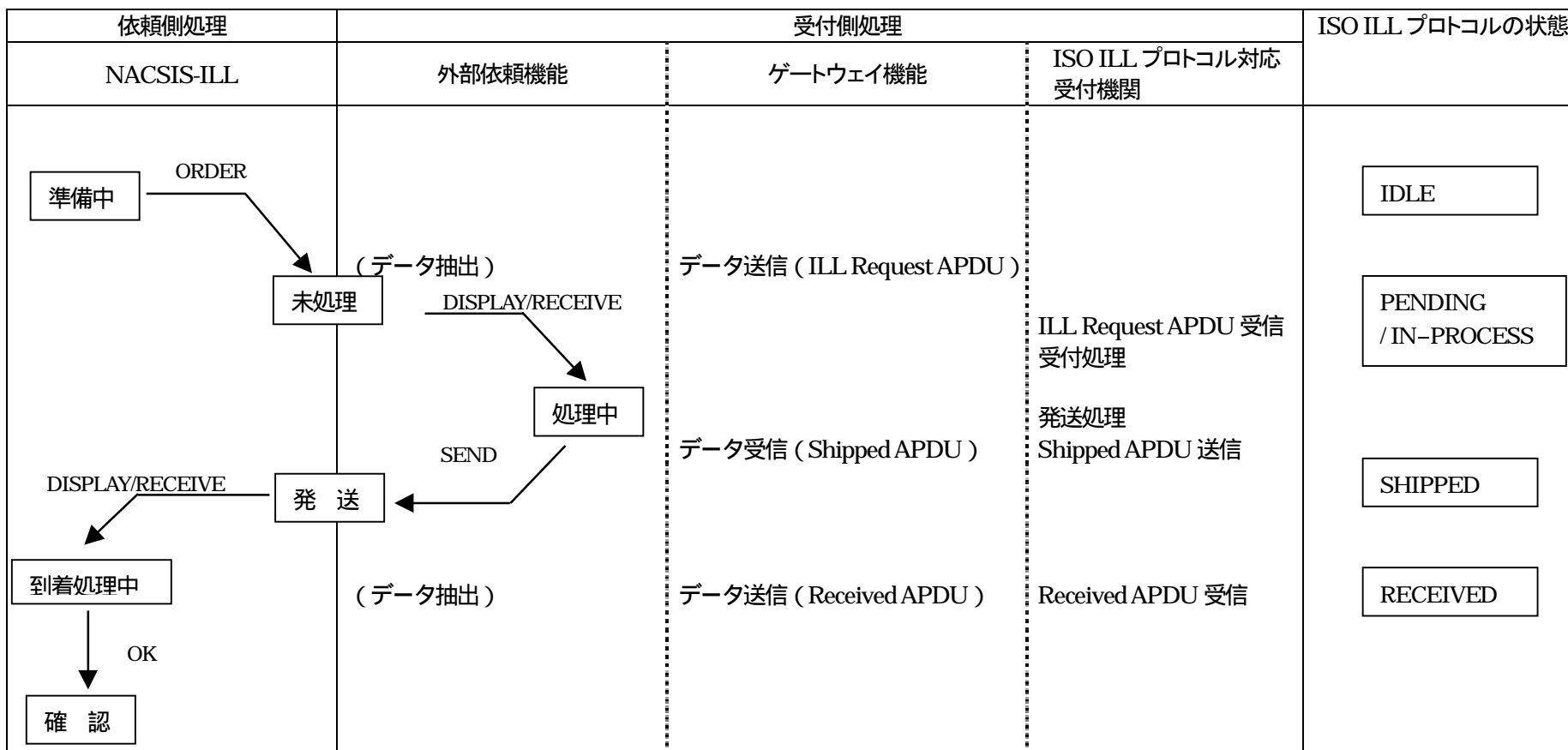
新 ILL クライアント

- 新設フィールドへの対応が必要です。
- 「BL」「OCLC」「RLG」などと依頼・受付するための対応が必要です。

旧 ILL システム (XUIP)

- 旧 ILL システムサーバ側で対応しますので、個々の XUIP での対応は不要です。ただし、ILL レコードを図書館システムで使う場合は、新設フィールドへの対応等が必要です。

4. ISO 対応受付機関へ文献複写を依頼した時の処理の流れ(例)



ILL Request APDU : 依頼機関が ILL 処理を開始するときに送信するメッセージ

Shipped APDU : 発送時に受付機関が送信するメッセージ

Received APDU : 資料受領時に依頼機関が送信するメッセージ

APDU : Application Protocol Data Unit = 応用プロトコルデータ単位。

ISO ILL プロトコルにおいて、ILL 処理の情報のまとまりは APDU と呼ばれ、ISO ILL プロトコルに対応している機関同士で送受信されるメッセージの単位となっている。ISO ILL プロトコル対応機関同士が APDU を送・受信することで ILL の依頼・受付処理を行なう。

## 5. ISO ILL プロトコル対応 NACSIS-ILL 新設フィールド一覧

表 1: ILL レコード新設フィールド一覧

フィールド名	説明	検索定義	転送定義	更新定義
HMLISO	ISO 所蔵館コード (HMLG のメンバ)			
AMLISO	ISO 受理館コード (HMLG のメンバ)	×		
CCODE	通貨単位コード			
ISOSTAT	ISO 状態 (ISO ILL プロトコルの ILL レコード状態)			
OMLIDISO	ISO 依頼館コード	(*1)		
AMLIDISO	ISO 受付館コード	(*2)		
OEDA	電子配送アドレス			
ISOTRG(*3)	(グループフィールド名)	-	-	-
ISOID(*3)	ILL レコード識別 ID 1			
ISOGID(*3)	ILL レコード識別 ID 2			

検索定義 : SEARCH : SCAN × : 不可

転送定義 : Edit-type=1 : Edit-type=2

更新定義 : ユーザー参照可能 : ユーザー設定可能 : ILL システム設定  
: ISO ILL プロトコル対応機能設定

\*1 : 受付レコード検索時のみ有効

\*2 : 依頼レコード検索時のみ有効

\*3 : NACSIS-ILL が受付機関の場合

表 2: 参加組織レコード新設フィールド一覧

フィールド名	説明	検索定義	転送定義	更新定義
OCLC	(グループフィールド名)	-	-	-
OCLCID	OCLC 利用者 ID	×		
OCLCPWD	OCLC パスワード	×		
RLG	(グループフィールド名)	-	-	-
RLGID	RLG 利用者 ID	×		
RLGPWD	RLG パスワード	×		

検索定義 : SEARCH : SCAN × : 不可

転送定義 : Edit-type=1 : Edit-type=2

更新定義 : ユーザー参照可能 : ユーザー設定可能

ILL レコード, 参加組織レコードの新設フィールドのスキーマバージョンは, 「3」を予定。